

# 市政運営方針

## 「中核市への移行」と「笑顔が広がるまちの実現」に向けた挑戦

平成30年3月市議会定例会で北川市長が発表しました。  
全文は市ホームページ「企画政策課」で見ることができます。

図 企画政策課



### 選ばれ続ける「魅力あるまち」となるために

市長就任以来、市民に暮らしが良くなったと実感していただけるよう、様々な施策・事業を推進してまいりました。

平成29年度は、「命を守る」ことを基本とし、将来の人口減少にも対応するため、住み続けたいと思っただけでなく、「子育て支援の充実」「救命救急体制、防災対策の強化」に重点を置いてまいりました。

特に「子育て支援の充実」は、本市が各種ランキングで上位を占めるようになり、着実にその成果が表れてきていると考えております。

しかしながら、昨年、本市内で大変痛ましい事件が発生し、尊い命が失われたことは、痛恨の極みであります。行政として何をすべきなのか不断に問い続け、市一丸となって安全で安心なまちを実現していかなければ

ならないと思いを新たにしております。

平成28年6月、私は中核市を目指すことを表明いたしました。きめ細かな行政サービスの提供と特色あるまちづくりを大きく推進するチャンスと捉え、組織体制の改革、都市格の向上に向けた取組を推進しております。

本市が将来にわたって持続的に発展していくためには、市内外の皆様から選ばれる魅力あるまちとしていかなければなりません。

各方面からの御協力を得ながら進めてまいりました、サクラ☆プロジェクトも、市内外の人々を結ぶ、春のイベントとして、2回目を迎えようとしています。引き続き、市の特長的な施策・事業を積極的にPRしてまいります。

昨年もまた、日本各地で風水害や地震による被害が相次ぎました。本市には地域活動が活発であるという強みがあります。日本一安全なまちを目指していくためには、その強みをいかし、社会全体で地域を見守る体制を構築していく必要があります。

進行する人口減少・少子高齢化、公共施設等の一斉更新時期の到来などの非常に厳しい課題を乗り越え、選ばれ続ける都市

となるため、市民の声を一つ一つ丁寧を受け止めるとともに、戦略的な視点を持つて、寝屋川市を「笑顔が広がるまち」にするための挑戦を続けていく所存であります。

### 今こそ飛躍のとき

平成30年度は、私が所信表明でお約束したことを完成させ、市民の皆様はその成果を実感していただく年度として、また、平成31年度の中核市への移行に向けた年度として、今こそ、飛躍するときであります。

「政治は暮らしてある」という信念に基づき、寝屋川市が持つてくる全ての力を遺憾なく発揮し、職員とともに、全力を尽くす所存であります。

### 基本方針

- 安全・安心の基盤を固める
- 確かな未来のための『子育て・教育』を築き上げる
- ゆとりやにぎわい、潤いのあるまちへ
- 市民が愛着と誇りをもつ洗練されたまちへ



# 主要な施策・事業

( )内は当初予算額

## 健康・医療・福祉のまちづくり

市保健所の設置に  
向けた取り組み  
(1億1436万円)

中核市移行に伴う市保健所設置に  
向け、施設改修などの環境整備に取り  
組めます。

(仮称)福祉・子育て安心  
ほっとラインの開設  
(400万円)

高齢者介護・障害者福祉や子育て  
に関する問い合わせを24時間365  
日受け付け、的確に対応するため、  
専用電話窓口を開設します。

軽度難聴児補聴器購入費用などの助成  
(190万円)

難聴児の健全な発育を支援するとともに、経済的負担を軽減するため、軽度を  
含む難聴児に対して補聴器の購入・修理、電池交換費用などを助成します。



## 子どもを守り育てる環境づくり

待機児童  
ZEROプランの推進  
(2億1742万円)

年間を通じた待機児童の解消を目  
指すため、引き続き、保育士の処遇  
改善などに取り組みとともに、新た  
に潜在保育士の就労促進などに取り  
組めます。

子育てリフレッシュ館の  
開設  
(3億8105万円)

子育て家庭への更なる支援の充実  
のため、子ども室内遊びスペースや  
一時預かりなど、子どもと保護者が  
リフレッシュできる「子育てリフ  
レッシュ館」を開設します。

子どもを守る位置情報(GPS)サービスの運用  
(1541万円)

児童の安全・安心を確保するため、市立小学校1年生に通信端末を配布  
し、保護者の携帯端末などから子どもの現在位置が確認できる位置情報  
サービスを提供します。





## 安全で安心なまちづくり

**冊子「(仮称)命を守るねやがわ防災」の作成、  
全戸配布(3362万円)**

自助意識の向上を図るため、防災マップ・洪水ハザードマップや国民保護、発災時の対処法などの情報を取りまとめた防災冊子を作成し、全戸配布します。

**非常用食料などの充実  
(5091万円)**

南海トラフ巨大地震を想定した備蓄物資を市立全小・中学校に拡充するとともに、全ての避難所へ新たに備蓄物資を配備します。

**防犯カメラの設置  
(800万円)**

犯罪抑止の環境づくりのため、平成32年度までに市内の防犯カメラ設置総数2000台の目標達成に向け、自治会への防犯カメラの設置費用を補助するとともに、新たに通学路などの危険箇所には防犯カメラ240台を設置します。



## 快適で魅力あるまちづくり

**空き家の除却費の補助  
(250万円)**

管理不全な空き家などの除却費用を補助し、更地となった跡地の活用、流通を促進します。

**三世帯隣居・近居・同居  
世帯への住宅購入費な  
どの補助(800万円)**

子育て環境の充実、市内定住や流入の促進を図るため、子育て世代とその親世代が市内に隣居、近居するための住宅購入費などを補助します。

**落ち葉の資源化(72万円)**

各自治会などの清掃活動で出された落葉を資源化することにより、資源循環型社会の推進と地域活動の活性化を図ります。



暮らし  
生活やすさが実感できる  
まちづくり

**市公式アプリの機能強化  
(267万円)**

市公式アプリを、より利用しやすくするため、子育てリフレッショ館での一時預かり保育の予約など、アプリの機能強化に取り組みます。

**ビデオ通話相談窓口の  
拡充(102万円)**

窓口での相談体制の充実を図るため、ビデオ通話、多言語翻訳、音声文字変換などのアプリ機能を活用するタブレット端末を全シテイ・ステーションに設置します。



**国民健康保険  
被保険者の負担軽減  
(3億1000万円)**

**用語解説**

△国民健康保険広域化▽  
平成27年5月の法改正により、都道府県を財政運営の責任主体とし、国民健康保険運営の安定化を図るものです。

国民健康保険広域化による保険料率の上昇に対し、国民健康保険財政運営安定化基金を活用し、保険料率を据え置くなど、被保険者の負担軽減を図ります。

活力あふれるにぎわいの  
まちづくり

**(仮称)寝屋川版プールの事業の実施(2000万円)**

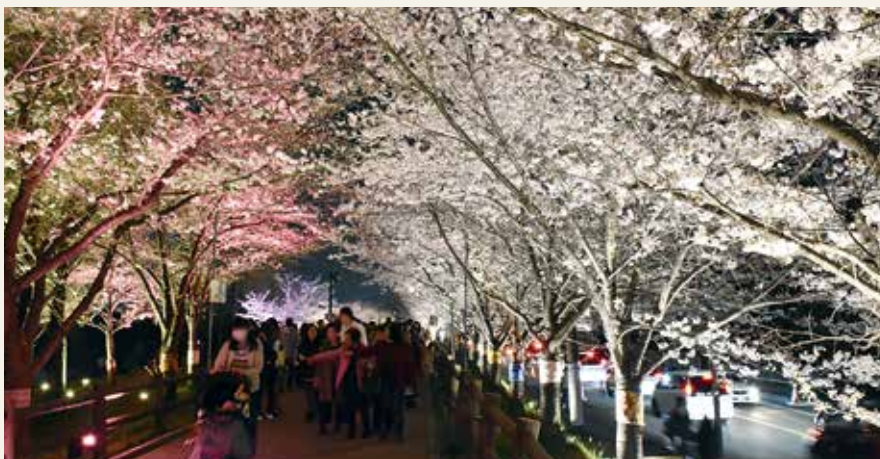
夏休みに子どもが安心して水に親しみ、水遊びができるよう、期間限定で小学校の校庭などにスライダーや簡易プールを設置します。

**サクラ☆プロジェクトの  
推進(2094万円)**

桜をテーマに、ライトアップ、植樹、にぎわいづくり事業などを引き続き推進します。

**テレビ、WEBサービス  
によるプロモーション  
広告の実施  
(1398万円)**

市の魅力、イメージなどを伝えるプロモーション動画を制作し、WEBサービスによるプロモーション広告やテレビを活用し広く発信することで、市の認知度やイメージの向上を図ります。





# 836億9,000万円

全会計予算総額 1,520億7,600万円

一般会計は836億9000万円です。新ごみ処理施設建設事業の完了などにより、平成29年度予算から74億4000万円減少しています。特別会計は502億5700万円（対前年度73億6500万円減）、公営企業会計は181億2900万円（対前年度2億3100万円増）となり、予算総額は1520億7600万円です。対前年度145億7400万円の減少となっています。

平成30年度当初予算案が3月市議会議定例会で審議され、可決されました。

暮らしが良くなったと実感してもらえる施策・事業の積極的な推進を図るなど、「笑顔が広がるまち 寝屋川」の実現を目指した予算編成としました。

財政課

## 一般会計予算の内訳

**歳入 836億9,000万円**

単位：百万円

市税	28,697	市民税や固定資産税など
国・府支出金	26,770	国や府からの補助金など
地方交付税	10,680	地方公共団体が等しく事務を行えるように国から交付されるお金
市債	6,394	公共施設の整備などのため、借り入れるお金
地方消費税交付金など	4,841	
諸収入	3,815	
分担金及び負担金など	2,493	

**歳出 836億9,000万円**

単位：百万円

民生費	46,014	高齢者・児童・障害者の福祉、生活保護など
土木費	10,764	道路・下水路・公園の建設・管理など
公債費	6,792	市債の元利償還など
教育費	6,331	幼稚園、小・中学校、図書館など
総務費	5,745	戸籍や住民登録、市役所の内部経費など
衛生費	4,195	ごみ・し尿の処理、健康増進など
消防費	2,916	枚方寝屋川消防組合負担金や消防団など
議会費など	664	議会の運営など
産業経済費	269	商業・工業・農業の振興など

## 会計別当初予算額（前年度比）

特別会計	国民健康保険	264億7,100万円 (23.5%減)	公営企業会計	水道事業	54億3,800万円 (6.0%減)
	介護保険	203億8,900万円 (3.6%増)		下水道事業	126億9,100万円 (4.8%増)
	後期高齢者医療	32億9,600万円 (4.9%増)			
	公共用地先行取得事業	1億100万円 (54.9%減)			

